

作成日：2022 年 9 月 13 日

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

液体クロマトグラフィー質量解析法を用いた膜性腎症における原因蛋白質の網羅的解析と臨床および病理学的差異の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象：当院腎臓内科において臨床および腎病理所見により膜性腎症と診断された患者さんもしくは腎移植に関連した腎生検を受けた患者さんを対象に検討を行います。

研究対象期間：2003年4月1日から2022年9月1日までに上記診断を受けた患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

膜性腎症はネフローゼ症候群（尿に蛋白がたくさん出てしまうために、血液中の蛋白が減り（低蛋白血症）、その結果、むくみ（浮腫）が起こる疾患）を呈し、慢性腎臓病や腎代替療法の対象となることのある、予後不良な疾患の1つです。膜性腎症の原因蛋白質にホスホリパーゼA2などがあることが、最近の研究で明らかになりました。しかし、これらの蛋白質と症状、検査結果、病気の進行などとの関連は明らかになっていません。

本研究では昭和大学病院において膜性腎症と診断された患者さんの各種検査データおよび腎組織標本を用いて、膜性腎症の原因蛋白質と様々な臨床データとの関連を詳細に検討致します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、生年月日、イニシャル、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、家族歴、嗜好歴、アレルギー歴、現病歴、使用薬剤情報）、入院時現症（血圧、脈拍数、酸素飽和度、体温、尿量）臨床検査所見（血算、凝固、生化、免疫血清、尿一般、尿生化学、胸部 X 線）、腎病理所見、腎生検試料（腎組織）、治療方法、転機（死亡、透析導入、慢性腎臓病など）。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座腎臓内科学部門

氏名：鈴木 泰平

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学 6 号館 4 階腎臓内科医局 電話番号：03-3784-8533

研究責任者：鈴木 泰平